

2015年度中間決算説明

2015年4月～9月



日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

目次

■ 2015年度中間期業績概要

- ◆ 2015年度上半期トピックス…………… P 1
- ◆ 中間連結業績要約 …………… P 2
- ◆ 中間連結主要経営指標 …………… P 3
- ◆ 四半期別 売上高・経常利益 …………… P 4
- ◆ 中間連結セグメント別売上高・損益 …………… P 5
- ◆ セグメント別事業概況 …………… P 6
- ◆ 連結セグメント別売上高推移 …………… P 7
- ◆ 中間連結貸借対照表概要 …………… P 8
- ◆ 中間連結損益計算書概要 …………… P 9
- ◆ 中間連結キャッシュ・フロー(CF)概要 …………… P10

■ 参考資料

- ◆ パイル需要推移(全国) …………… P19
- ◆ パイル全国生産・出荷実績及びシェア(2015年度上半期) …… P20
- ◆ ポール需要推移(全国) …………… P21
- ◆ ポール全国生産・出荷実績及びシェア(2015年度上半期) …… P22
- ◆ 14年度・15年度上半期地域別パイル需要(全国) …… P23
- ◆ 株価・出来高の推移 …………… P24

■ 経営指標・業績予測

- ◆ 営業利益率/経常利益率の推移 …………… P11
- ◆ 設備投資/減価償却費の推移 …………… P12
- ◆ 社債・借入金残高の推移 …………… P13
- ◆ 配当及び自己株式の取得状況 …………… P14
- ◆ 連結売上高/経常利益/純利益の推移…………… P15
- ◆ 2015年中期経営方針 …………… P16
- ◆ 2015年中期経営計画(目標経営指標) …………… P17
- ◆ 2015年度業績予想 …………… P18

■ 会社基本情報

- ◆ 会社概要 …………… P25
- ◆ 経営理念 …………… P26
- ◆ 事業内容 …………… P27
- ◆ 生産・営業拠点 …………… P28

2015年度上半期トピックス

九州地区大径コンクリート
パイル製造工場竣工
NC九州(株) 九州工場
福岡県 直方市



2015年中期経営計画大綱策定

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

英文ホームページ
を8月1日より公開



セグメント製造新工場
の生産開始
NCセグメント(株) 女方工場
茨城県 筑西市

中間連結業績要約

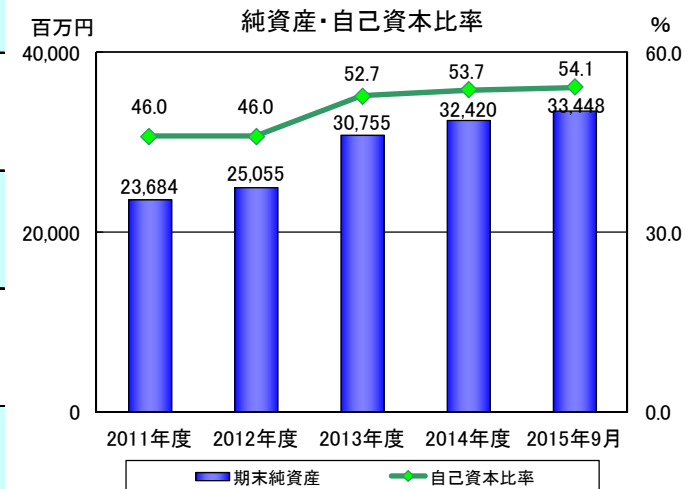
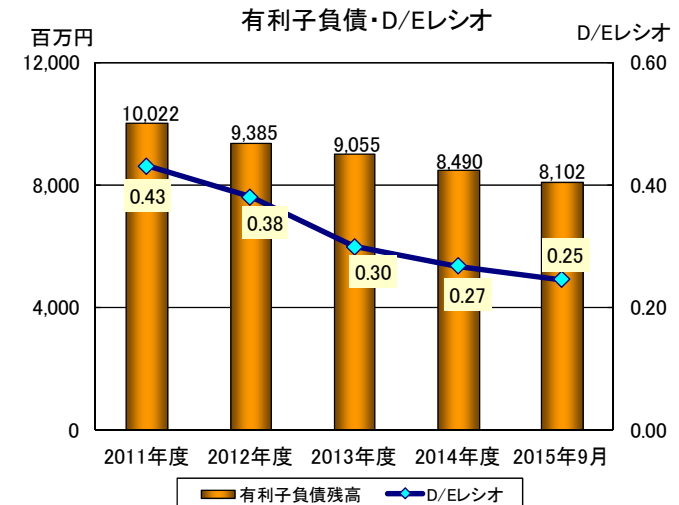
(単位:百万円)

	前中間期	当中間期	増減		公表値
	実績 (A)	実績 (B)	前期比 (B)-(A)=(C)	増減率 (C)/(A)	2015年 5月15日
売上高	18,082	16,184	△ 1,898	△ 10.5%	17,500
営業利益	839	529	△ 310	△ 36.9%	750
経常利益	1,026	689	△ 336	△ 32.8%	950
当期純利益	597	436	△ 160	△ 26.9%	600

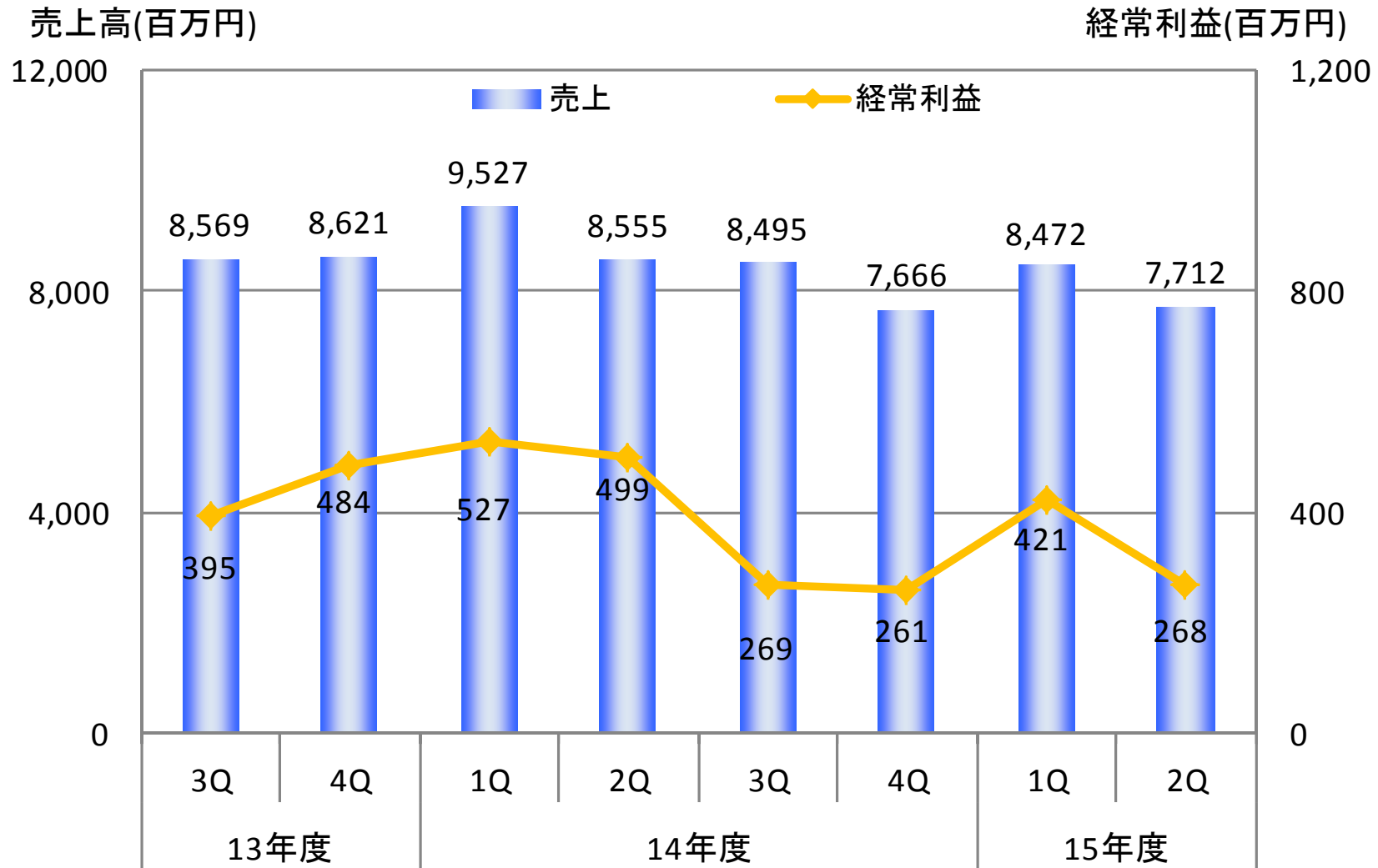
中間連結主要経営指標

連結主要経営指標

	前中間期	当中間期
自己資本当期純利益率(ROE)	1.9 %	1.3 %
総資産経常利益率(ROA)	1.7 %	1.1 %
営業利益率	4.6 %	3.3 %
D/E レシオ	0.27	0.25
自己資本比率	53.5 %	54.1 %
有利子負債残高	8,414 百万円	8,102 百万円
期末総資産	58,688 百万円	61,008 百万円
従業員数	830 人	827 人



四半期別 売上高・経常利益



中間連結セグメント別売上高・損益

売上高

(単位:百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	増減率
	(A)	(B)	(B)-(A)=(C)	(C)/(A)
基礎事業	10,588	9,706	△ 881	△ 8.3%
コンクリート二次製品事業	7,494	6,477	△ 1,016	△ 13.6%
計	18,082	16,184	△ 1,898	△ 10.5%

セグメント損益

	前中間期	当中間期	増減額	増減率
	(A)	(B)	(B)-(A)=(C)	(C)/(A)
基礎事業	791	554	△ 237	△ 30.0%
コンクリート二次製品事業	743	656	△ 87	△ 11.8%
調整額	△ 696	△ 681	14	-
計	839	529	△ 310	△ 36.9%

セグメント別事業概況

基礎事業

- ・ 2015年度上期コンクリートパイル全国需要142万t(2014年度横ばい)
- ・ 九州大径パイル工場の竣工

土木製品事業

- ・ 大型案件の受注獲得
東京外かく環状道路(セグメント)
- ・ 女方工場の竣工
2015年11月より生産開始

ポール関連事業

- ・ 全国需要減少傾向
- ・ 分割式コンクリートポールの出荷拡大

海外事業

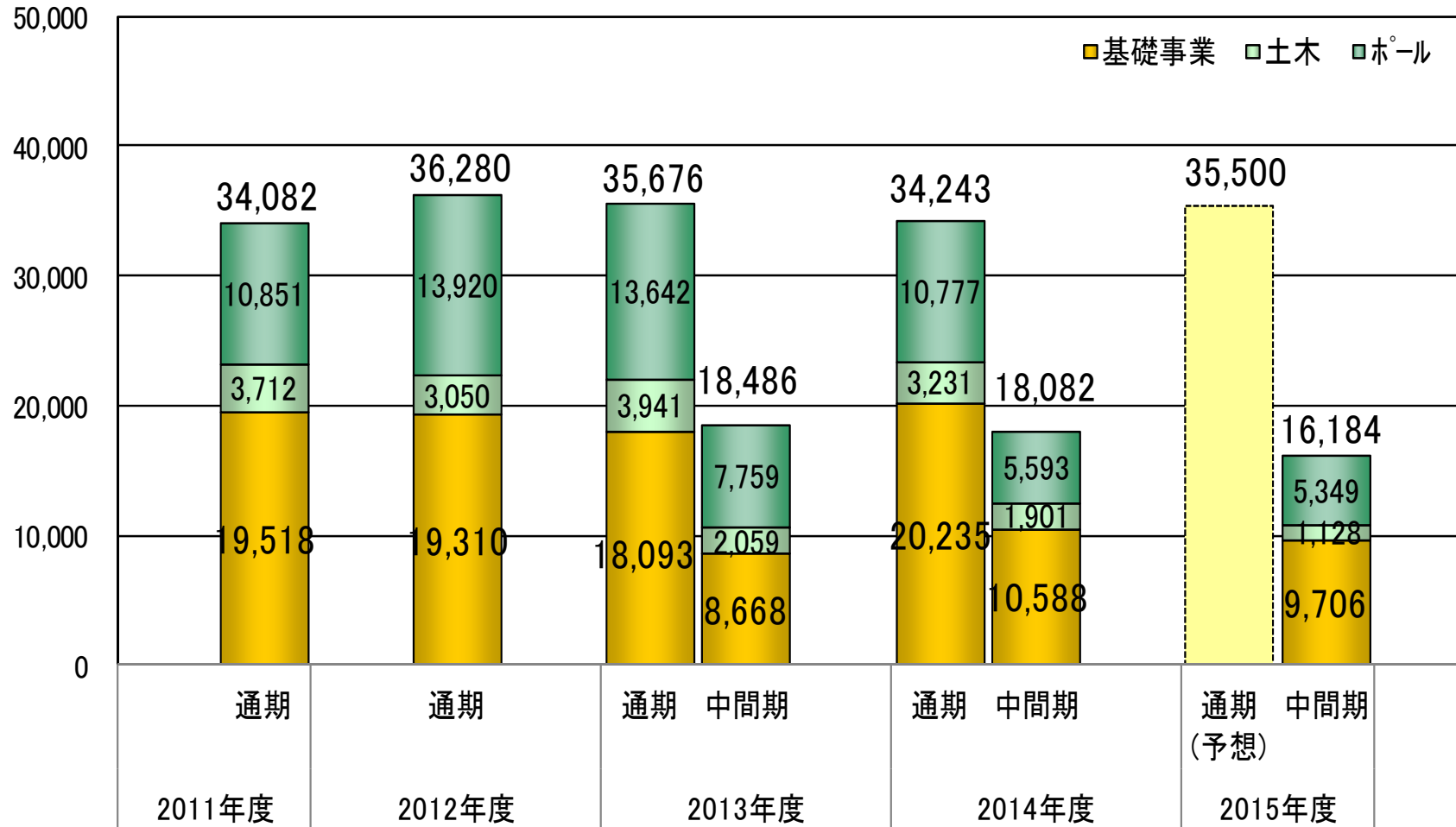
- ・ ミャンマーでポール・パイル製造合弁工場
2016年3月竣工予定
- ・ 英文ホームページの公開

環境・エネルギー事業

- ・ 太陽光発電による売電開始と、新規設備建設中
- ・ ホームページに環境製品ページの公開
- ・ 本社ビルの一部の賃貸開始

連結セグメント別売上高推移

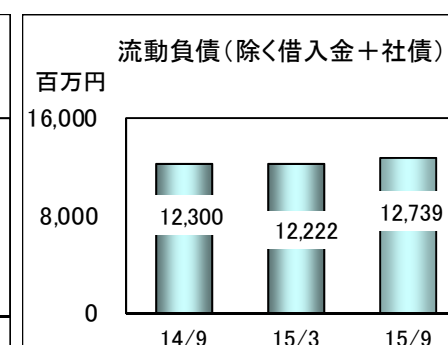
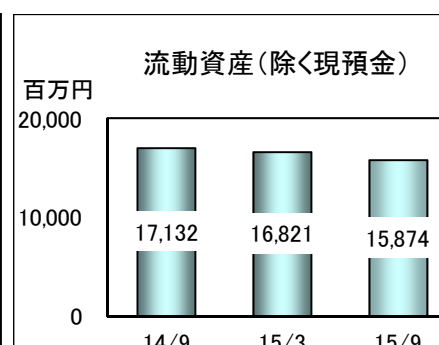
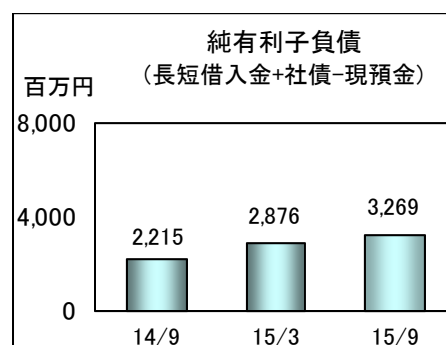
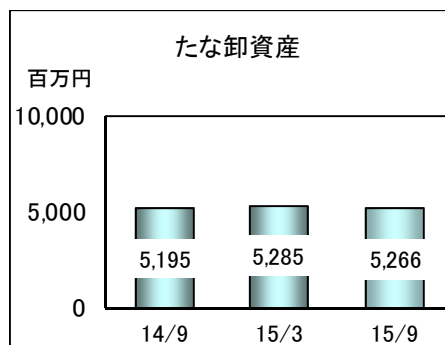
百万円



中間連結貸借対照表概要

(単位: 百万円)

科目	前期末	当中間期末	増減額	科目	前期末	当中間期末	増減額
	(A)	(B)	(B)-(A)		(A)	(B)	(B)-(A)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	21,897	20,200	△ 1,697	流動負債	16,153	16,547	394
現金・預金	5,076	4,325	△ 750	仕入債務	8,859	8,910	51
受取手形・売掛金	8,910	7,698	△ 1,212	短期借入金(含む1年内)	3,931	3,808	△ 122
たな卸資産	5,285	5,266	△ 19	その他	3,362	3,828	465
その他	2,625	2,909	284	固定負債	10,921	11,012	90
固定資産	37,597	40,808	3,211	社債	470	365	△ 105
有形固定資産	21,277	22,947	1,669	長期借入金	3,551	3,420	△ 130
無形固定資産	80	69	△ 10	その他	6,900	7,226	326
投資その他の資産	16,239	17,790	1,551	負債合計	27,075	27,560	484
				(純資産の部)			
				株主資本	22,466	22,681	214
				その他の包括利益累計額	9,492	10,325	833
				非支配株主持分	461	441	△ 19
				純資産合計	32,420	33,448	1,028
資産合計	59,495	61,008	1,513	負債純資産合計	59,495	61,008	1,513



中間連結損益計算書概要

(単位:百万円)

	前中間期		当中間期		増減額 (B)-(A)=(C)	増減率 (C)/(A)
	(A)		(B)			
売上高	18,082	100.0%	16,184	100.0%	△1,898	△ 10.5%
売上原価	15,169	83.9%	13,629	84.2%	△1,539	△ 10.2%
売上総利益	2,913	16.1%	2,554	15.7%	△358	△ 12.3%
販売費及び一般管理費	2,074	11.5%	2,025	12.5%	△48	△ 2.3%
営業利益	839	4.6%	529	3.3%	△310	△ 36.9%
営業外損益	187	1.0%	160	1.0%	△26	△ 14.3%
経常利益	1,026	5.7%	689	4.3%	△336	△ 32.8%
特別損益	△1	△ 0.0%	△103	△ 0.6%	△102	-
税金等調整前四半期純利益	1,025	5.6%	586	3.6%	△439	△ 42.8%
法人税、住民税及び事業税	388	2.0%	232	1.3%	△155	△ 40.2%
法人税等調整額	36	0.2%	△69	△ 0.4%	△105	△ 293.2%
四半期純利益	600	3.3%	423	2.5%	△177	△ 29.5%
非支配株主に帰属四半期利益又は損失(△)	3	0.0%	△13	△ 0.1%	△16	△ 500.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	597	3.3%	436	2.7%	△160	△ 26.9%

■営業外損益の主な項目

(単位:百万円)

		前中間期		当中間期		増減
収益	受取利息及び配当金	88		114		25
	持分法による投資利益	96		49		△47
	受取賃貸料	97		81		△15
費用	支払利息	45		37		△8
	減価償却費	27		19		△7

■特別損益の主な項目

(単位:百万円)

		前中間期		当中間期		増減
利益	固定資産売却益	1		9		8
損失	固定資産除却損	2		2		0
	災害による損失	-		111		111

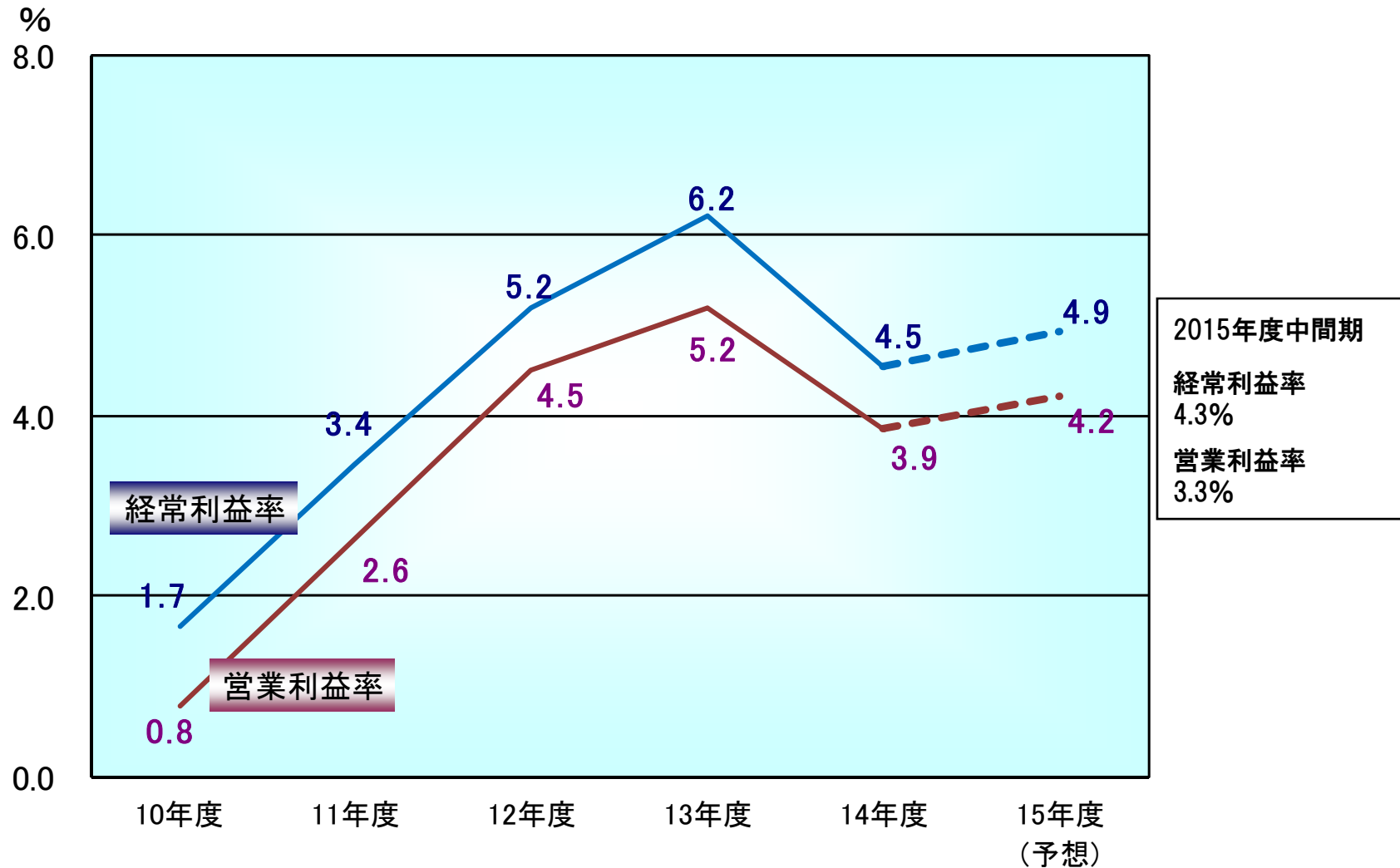
中間連結キャッシュ・フロー(CF)概要

(単位:百万円)

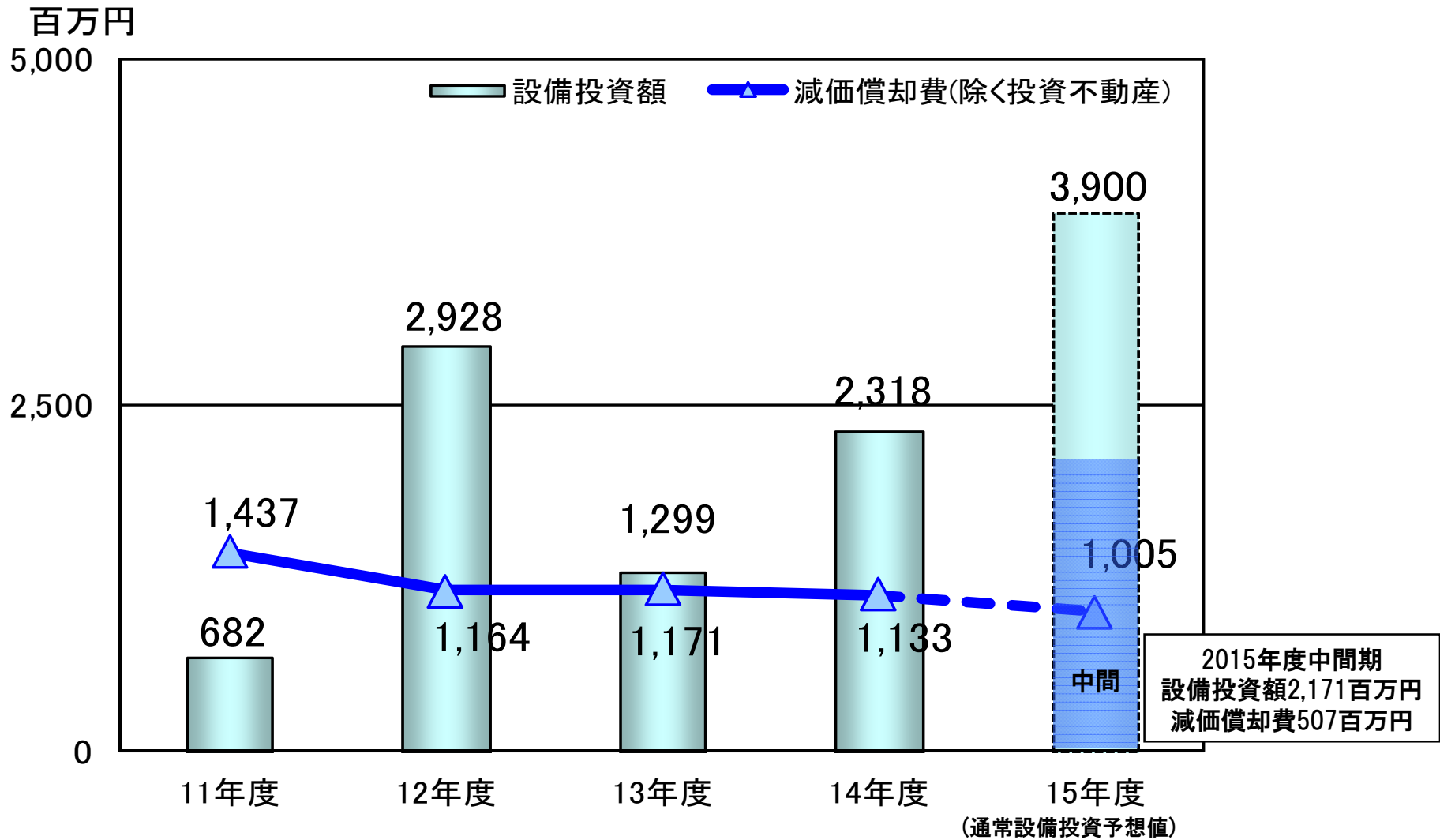
		前中間期	当中間期	増減額
		(A)	(B)	(B)-(A)
営業活動によるCF	税金等調整前当期純利益	1,025	586	△ 439
	減価償却費	540	507	△ 32
	売上債権の増減額(△は増加)	△ 274	1,081	1,356
	たな卸資産の増減額(△は増加)	767	19	△ 748
	仕入債務の増減額(△は減少)	△ 271	△ 277	△ 5
	その他	△ 487	△ 647	△ 159
	計	1,298	1,269	△ 29
投資活動によるCF		△ 550	△ 1,419	△ 868
財務活動によるCF		△ 808	△ 600	207
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△ 60	△ 750	△ 690
現金及び現金同等物の期首残高		5,725	5,076	△ 649
現金及び現金同等物の四半期末残高		5,664	4,325	△ 1,339
フリー・キャッシュ・フロー*1		748	△ 149	△ 898

*1 フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

営業利益率/経常利益率の推移

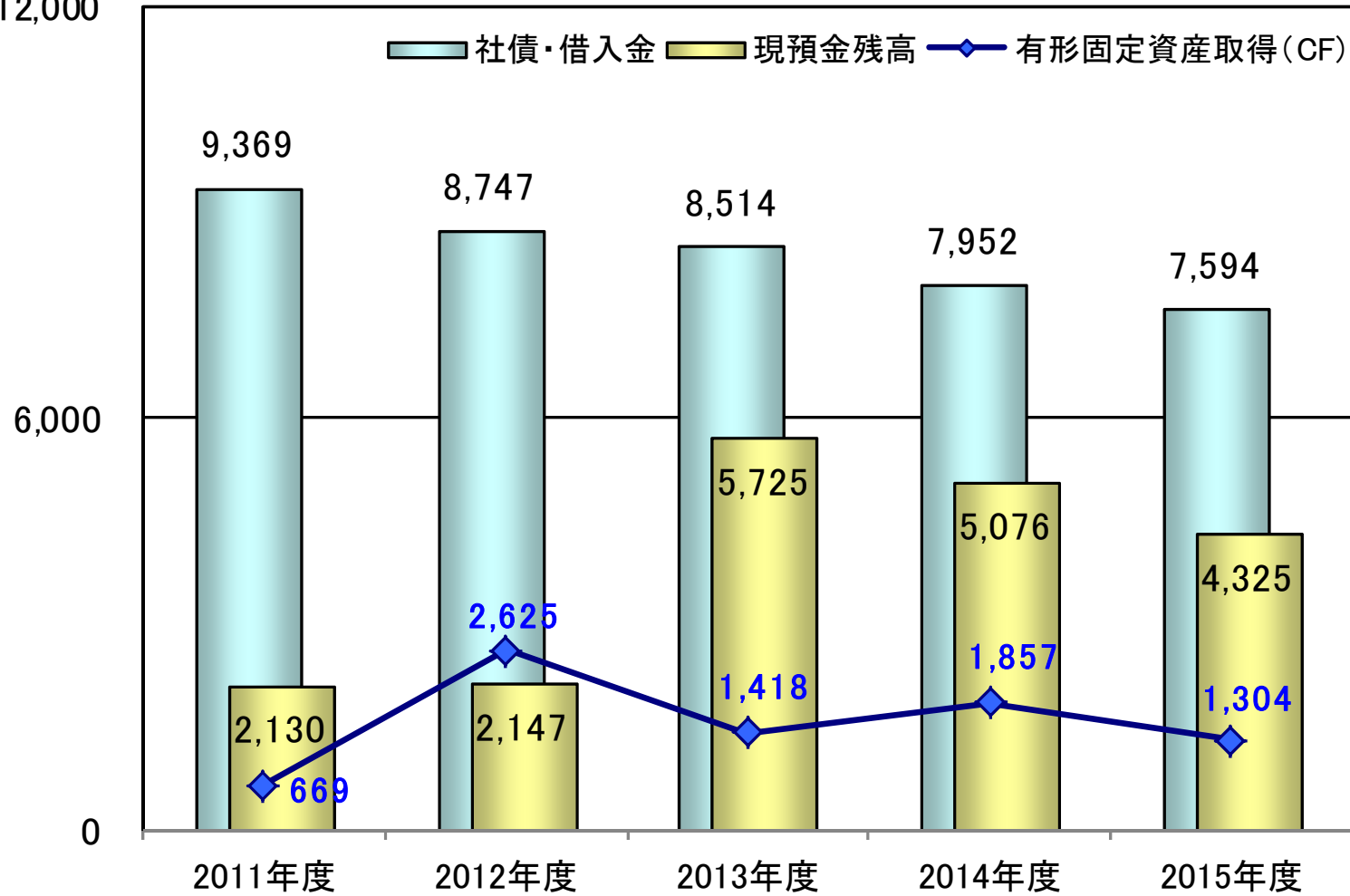


設備投資/減価償却費の推移

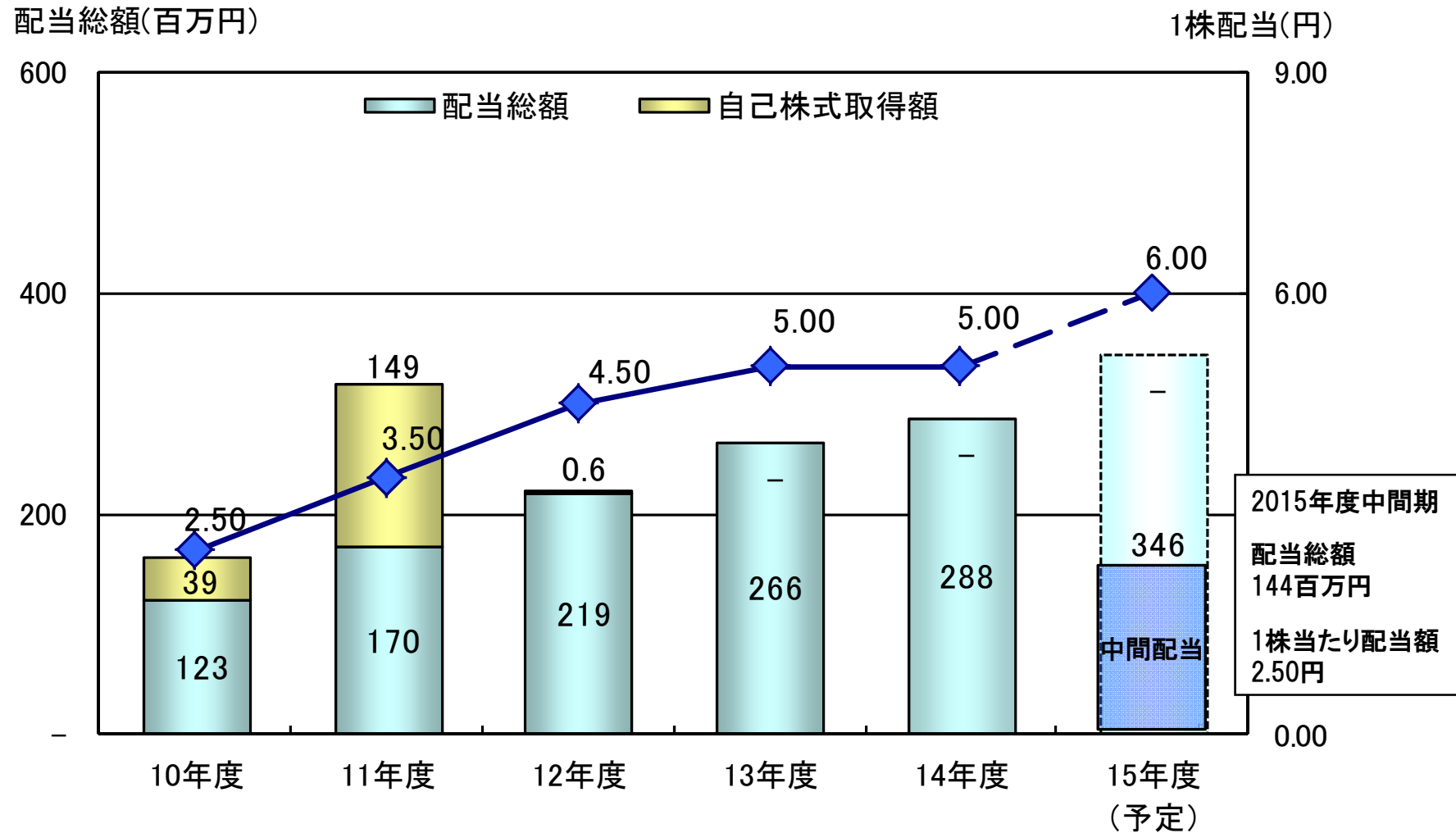


社債・借入金残高の推移

百万円
12,000



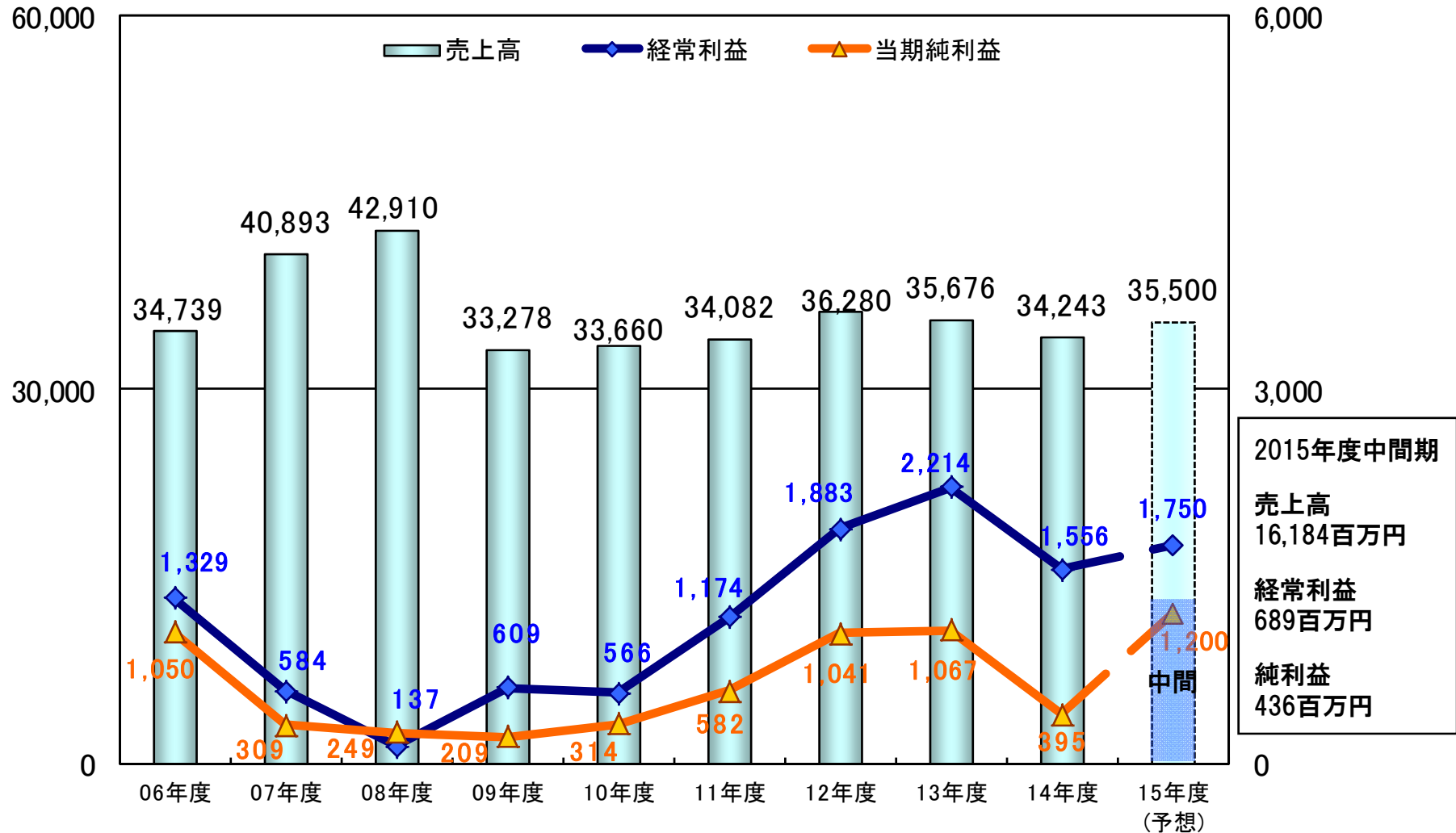
配当及び自己株式の取得状況



連結売上高/経常利益/純利益の推移

売上高(百万円)

利益(百万円)



2015年中期経営方針

挑戦心とスピードを備えたグループ力で企業価値の向上を図ろう

コア事業

新たなる成長へ挑戦することで収益基盤を構築

- **基礎事業**
業界トップ3の確立
顧客信頼性No.1企業へ
- **ポール関連事業**
安定成長への実現
- **土木製品事業**
セグメント事業拡大
PC-壁体、親杭パネルの市場開拓
- **共通**
技術開発を強化(製品、工法)
グループ会社との連携
他社とのアライアンスを推進(異業種を含む)

育成事業

2020年以降を見据えた事業展開

- **海外事業**
「ミャンマー プラス 1」
ミャンマープロジェクトの成功による、グローバル展開のため拠点国としての育成
- **環境・エネルギー事業**
「環境の日コン」の具体化
組織体制を一元化
効率的な研究・営業体制を構築
ポアセル事業を強化
ポールリサイクル、PAdeCS、不動産、太陽光発電の事業化

経営基盤

- コーポレート・ガバナンス体制の強化
「業績連動型の役員報酬」の導入
- 人材戦略
人材強化・確保、組織活性化、教育
- グループ経営の強化
「NC-WAY」の作成
- IT戦略:環境変化に応じた成長基盤の構築
(ICT革新、ワークスタイル変革)

目標経営指標

\	2014年度 (実績)	2015年度 (計画)	2017年度 (計画)
売 上 高	342億円	390億円	440億円
経 常 利 益 (経常利益率)	15億円 4.5%	24億円 6.2%	32億円 7.3%
R O A	2.7%	4.1%	5.5%
配 当 額	5.0円/年	6.0円/年	9.0円/年

2015年度業績予想

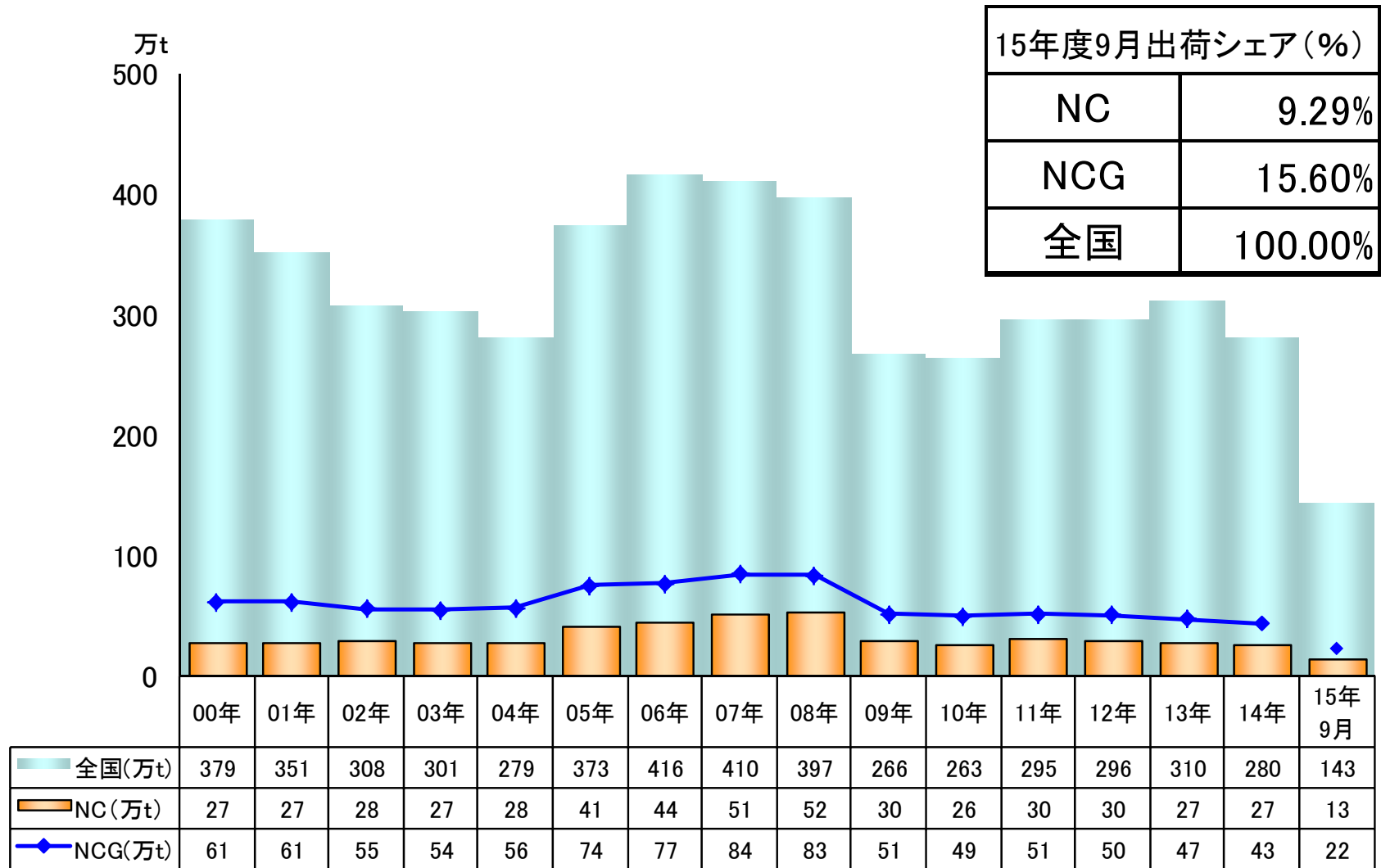
(単位:百万円)

	2014年度		2015年度(11/12公表値)				通期比	
	前期実績		中間期(実績)		通期(予想)		増減額	増減率
売上高	34,243	100.0%	16,184	100.0%	35,500	100.0%	1,256	3.7%
営業利益	1,320	3.9%	529	3.3%	1,500	4.2%	179	13.6%
経常利益	1,556	4.5%	689	4.3%	1,750	4.9%	193	12.4%
当期純利益	395	1.2%	436	2.7%	1,200	3.4%	804	203.1%
配当(円)	5.00	-	2.50	-	6.00	-	1.00	20.0%



参考資料

パイル需要推移(全国)



15年度9月出荷シェア(%)	
NC	9.29%
NCG	15.60%
全国	100.00%

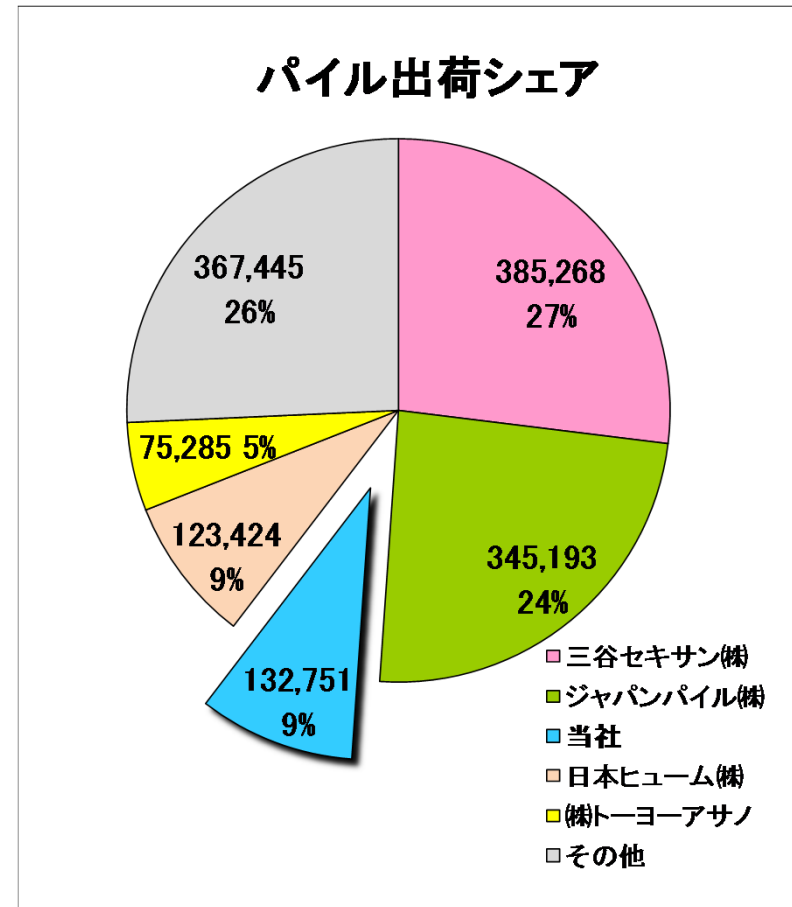
(社)コンクリートホール・パイル協会資料による

パイル全国生産・出荷実績及びシェア

(2015年度上半期)

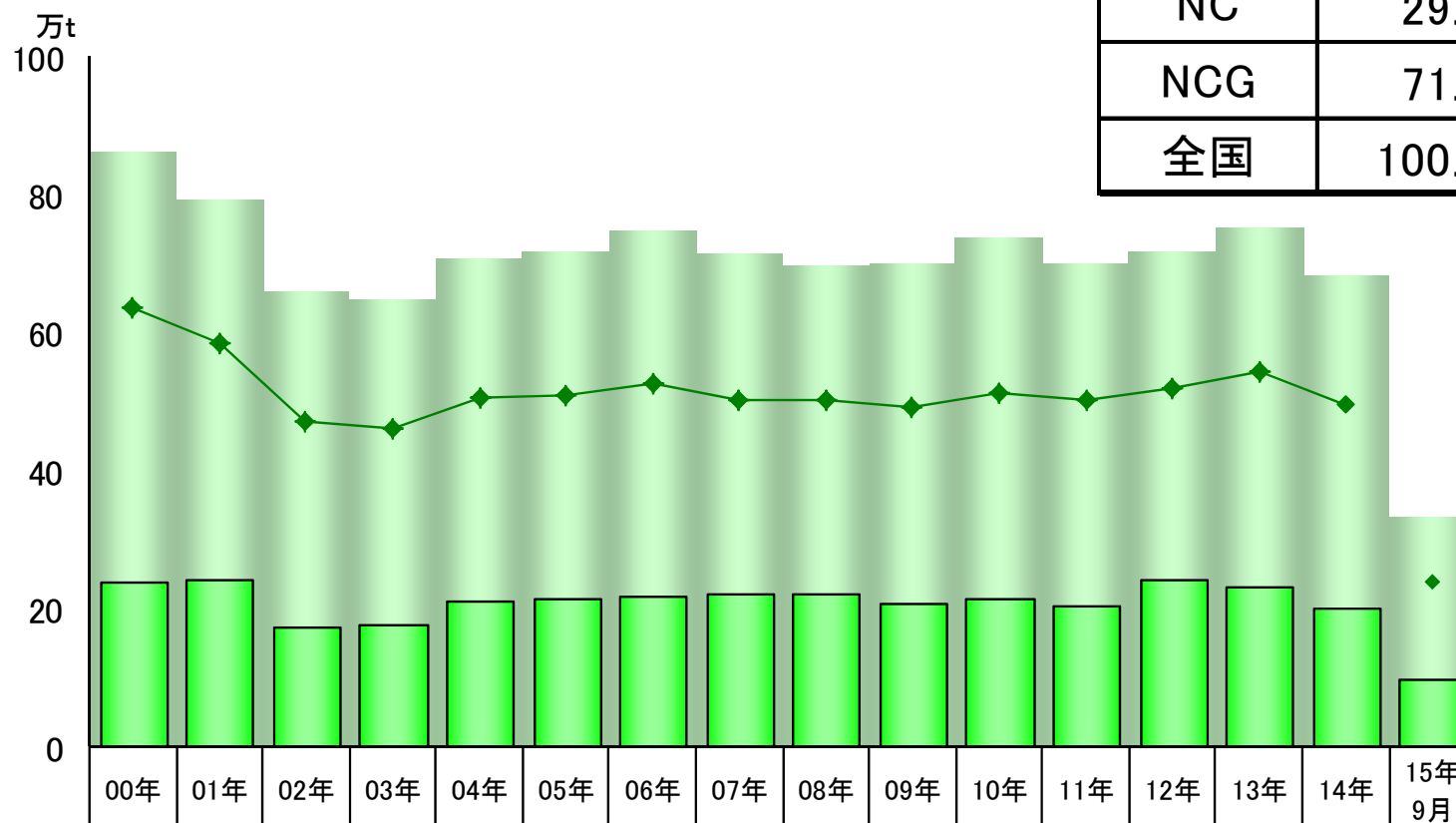
	会社名	生産量 (ton)	出荷量 (ton)	シェア			
				生産 シェア	前年 同期比	出荷 シェア	前年 同期比
1	三谷セキサン(株)	377,234	385,268	26.81%	↗	26.95%	↗
2	ジャパンパイル(株)	331,007	345,193	23.52%	↗	24.15%	↗
3	日本コンクリート工業(株)	133,282	132,751	9.47%	↗	9.29%	↗
4	日本ヒューム(株)	131,956	123,424	9.38%	→	8.63%	↘
5	(株)トーヨーアサノ	80,653	75,285	5.73%	↘	5.27%	↘
6	前田ホールディングス(株)	43,683	48,383	3.10%	→	3.38%	→
7	日本高圧コンクリート(株)	48,244	47,843	3.43%	↘	3.35%	↘
8	マナック(株)	37,276	33,908	2.65%	↘	2.37%	↘
9	藤村ヒューム管(株)	28,759	28,110	2.04%	→	1.97%	→
10	児玉コンクリート工業(株)	21,590	27,187	1.53%	↗	1.90%	↗
その他	30社	173,448	182,014	12.33%		12.73%	
計(40社)		1,407,132	1,429,366	100.00%		100.00%	

注) 1.前年同期比の↗はシェアの変化が-0.3%~+0.3%
 2.(社)コンクリートポール・パイル協会資料による。
 3.日コンG社NC貝原コンクリート製のパイル出荷分20,230tはNCに加算。



ポール需要推移(全国)

15年度9月出荷シェア(%)	
NC	29.74%
NCG	71.88%
全国	100.00%



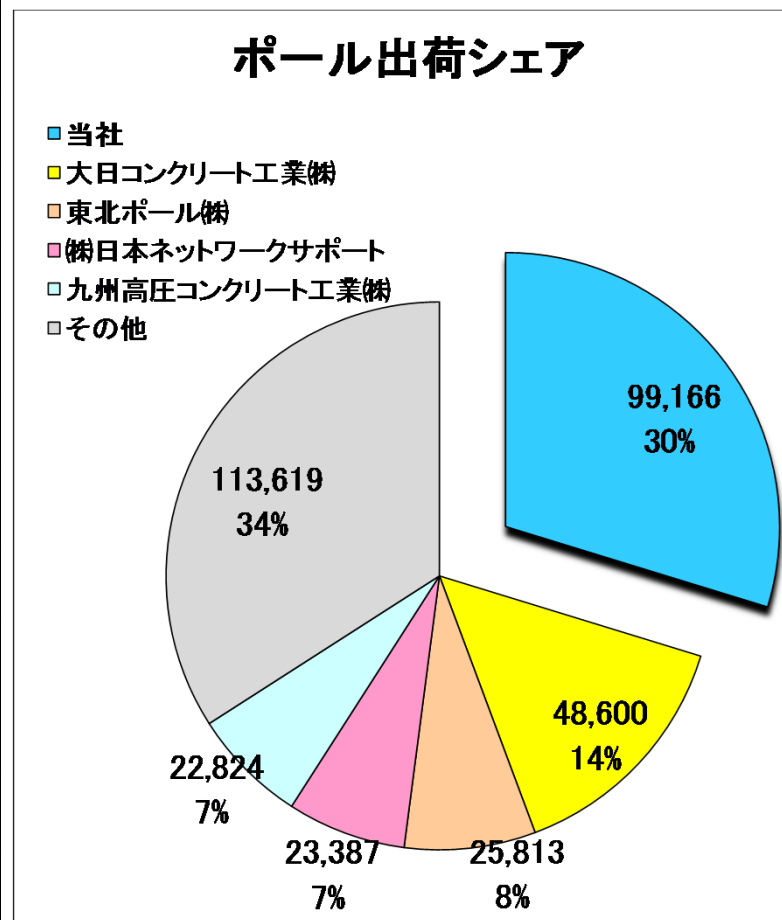
■ 全国(万t)	86	79	66	65	71	72	75	71	70	70	74	70	72	75	68	33
■ NC(万t)	24	24	18	18	21	22	22	22	22	21	22	21	24	23	20	10
◆ NCG(万t)	64	59	47	46	50	51	53	50	50	49	51	50	52	55	50	24

(社)コンクリートポール・パイル協会資料による

ポール全国生産・出荷実績及びシェア

(2015年度上半期)

	会社名	生産量 (ton)	出荷量 (ton)	シェア			
				生産 シェア	前年 同期比	出荷 シェア	前年 同期比
1*	日本コンクリート工業(株)	95,856	99,166	29.55%	↗	29.74%	→
2	大日コンクリート工業(株)	49,182	48,600	15.16%	↗	14.58%	↘
3*	東北ポール(株)	27,393	25,813	8.44%	↘	7.74%	↘
4*	(株)日本ネットワークサポート	22,779	23,387	7.02%	→	7.01%	↗
5*	九州高圧コンクリート工業(株)	23,490	22,824	7.24%	↘	6.85%	↘
6	三谷セキサン(株)	19,967	22,606	6.15%	↘	6.78%	↘
7*	中国高圧コンクリート工業(株)	19,957	21,077	6.15%	↗	6.32%	↗
8*	東海コンクリート工業(株)	19,657	18,727	6.06%	↘	5.62%	→
9	日本高圧コンクリート(株)	16,213	18,616	5.00%	→	5.58%	↗
10*	北海道コンクリート工業(株)	13,052	14,746	4.02%	↘	4.42%	→
その他	5社	16,873	17,847	5.20%		5.35%	
計(15社)		324,419	333,409	100.00%		100.00%	

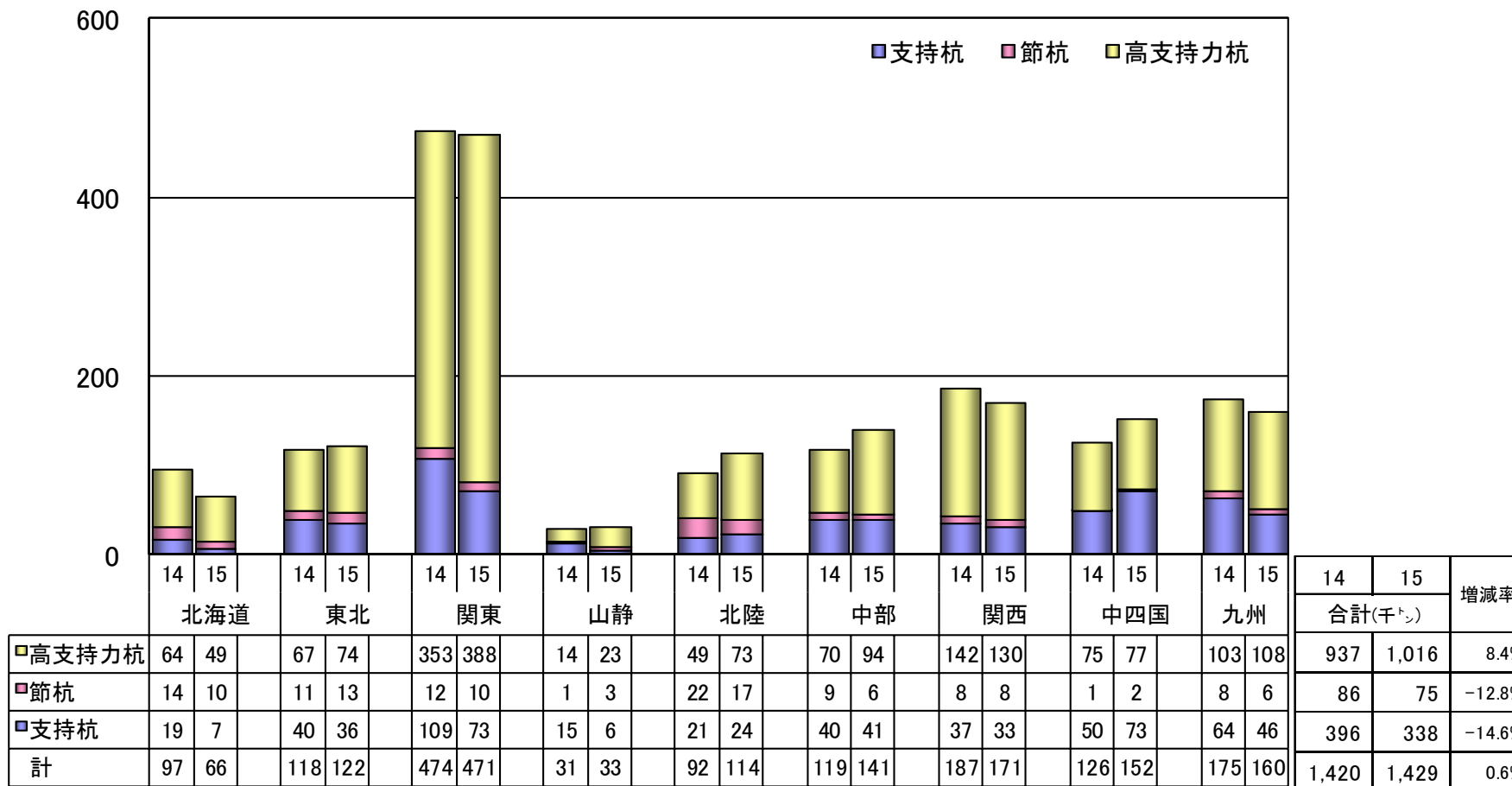


注) 1.順位に*印のついた会社は、NCグループ。
 2.前年同期比の→はシェアの変化が-0.3%~+0.3%
 3.(社)コンクリートポール・パイル協会資料による。

14年度・15年度上半期地域別パイル需要

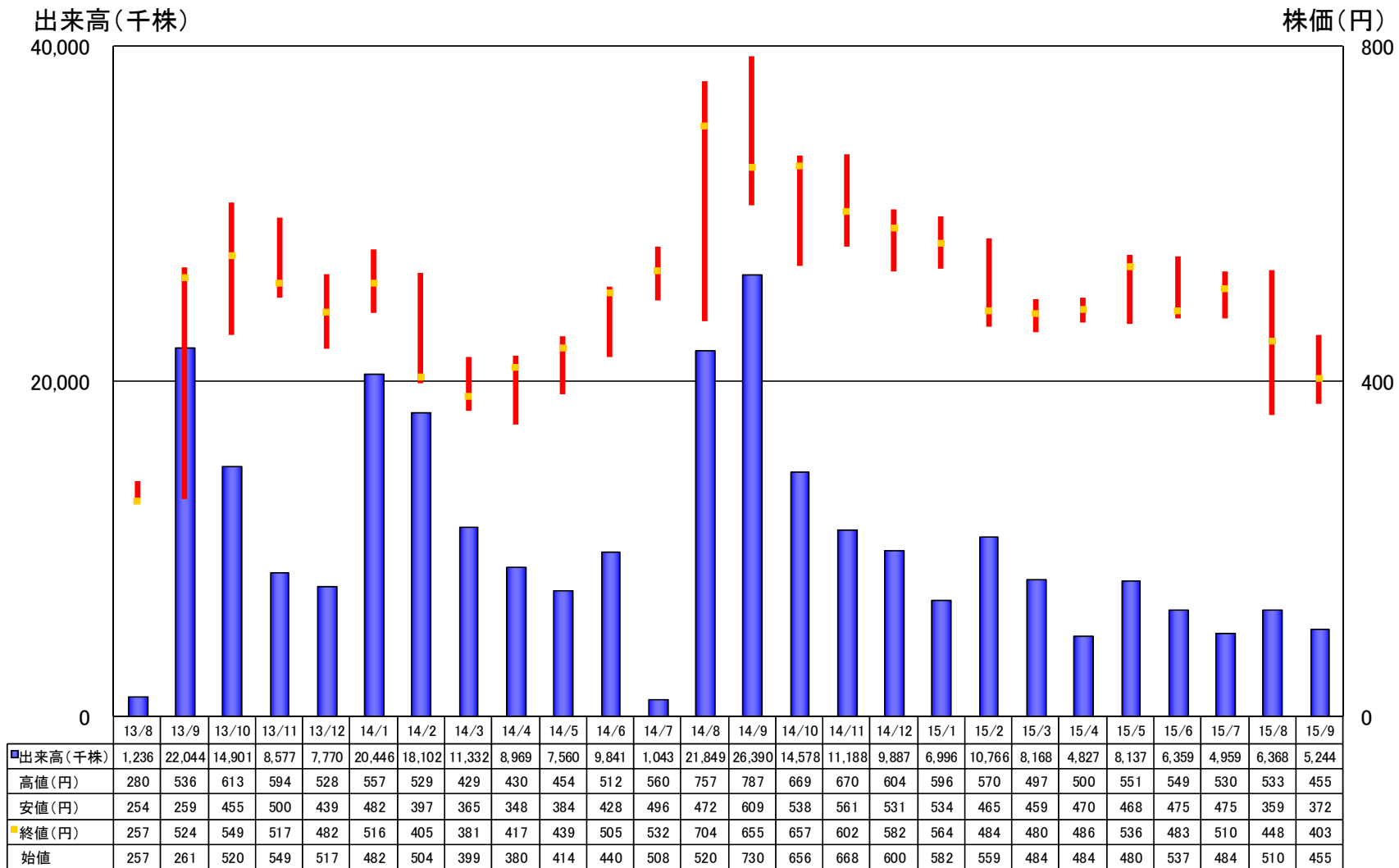
(全国)

千トン



(社)コンクリートホール・パイル協会資料による

株価・出来高の推移



会社概要

- ◆ 商号 日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.
- ◆ 設立 1948年(昭和23年)8月5日
- ◆ 代表取締役 代表取締役会長兼CEO 網谷 勝彦
代表取締役社長兼COO 土田 伸治
- ◆ 本社 〒108-8560
東京都港区芝浦四丁目6番14号 NC芝浦ビル
- ◆ 上場取引所 東京証券取引所市場第一部 証券コード5269
(1967年(昭和42年)10月)
- ◆ 資本金 5,111百万円
- ◆ 大株主 新日鐵住金(株)、太平洋セメント(株)、日本電設工業(株)
- ◆ 事業内容 コンクリートポール、コンクリートパイルおよびプレキャスト製品の製造、販売ならびに施工
- ◆ 品質マネジメントシステム ISO9001認証取得(2000年6月)
- ◆ 従業員数 827名(2015年9月末現在 当社グループ)
- ◆ 日コングループ 当社の子会社で、製造、施工、販売、物流、サービスを事業とする18社で構成
- ◆ NCグループ コンクリートポール・パイルの製造技術(当社の技術供与)を核とするグループ13社(29工場)で全国をネット



経営理念 (2013年5月 改定)

経営理念

日コングループは
「コンクリートを通して、
安心・安全で豊かな社会づくりに貢献する」
ために存在します

行動理念

私たちは、

1. お客様を大切に、社員の働き甲斐と幸せの実現を目指します
2. コンクリートでお客様に感動を与える高い技術力を保持し、品質至上を目指します
3. 適正利潤を確保し、企業価値を高め、株主の信頼と社員の幸福を目指します
4. 私たち社員は
 - ・熱きチャレンジの心を持っております
 - ・常に自己革新を目指します
 - ・失敗を責めず、失敗から学びます
 - ・社内外での挨拶を励行します

事業内容

■コンクリートポール



配電線路、通信線路、電車線路、防球ネット、照明、アンテナ等の支持物

■コンクリートパイプ

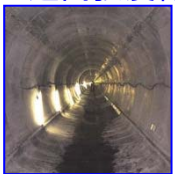


さまざまな施工ニーズに対応した基礎杭

- ・PHCパイプ
- ・PRCパイプ
- ・SCパイプ
- ・RSCパイプ
- ・RSCPパイプ

なお、PHCパイプには、外観形状が異なる節杭、HBパイプ、HMパイプなどがあります。

■超高強度繊維補強コンクリート(UFC)



水路、橋脚、トンネル等の補修、建物の耐震補強に使用される耐久性、耐摩耗性、耐塩害性に優れた超高強度のコンクリート材料

■Hyper-NAKSⅡ工法(高支持力杭工法)

従来のHyper-NAKS工法をさらに進化させ、地盤支持力をより大きくした中掘り系高支持力工法

■Hyper-MEGA工法(高支持力杭工法)

先端部に超高強度の節付き杭を用いるプレボーリング系高支持力工法

■Hyper-ストレート工法(高支持力杭工法)

全掘削工程が同径のストレート掘削工法で、高支持力を得るための専用下杭を使わず、標準の既製コンクリート杭を使用するシンプルなプレボーリング系高支持力工法

■H・B・M工法

HBパイプ(溝付き拡底杭)を使用し、球根部の軸力と摩擦支持力を確実に発揮するプレボーリング系高支持力工法

■PC-壁体



高剛性な土留構造物用等辺角型コンクリートパイプ
(仮設なしで自立式の擁壁や護岸を急速築造)

■コンクリートセグメント



シールドトンネル用RCセグメント(高流動セグメントは高品質・低価格)

■プレキャストコンクリート製品



地中配電線路材(マンホール、ハンドホール、SAYAKAn)、土木部材(親杭パネル、NJ軽量高欄)

■剛体多孔質吸音材ポアセル



世界最軽量の気泡コンクリートで、気泡が各々連孔した構造であり他に類をみない吸音性能と耐久性を有する無機質の吸音材

■RODEX工法

特殊なロッドにより地盤を攪拌掘削し、その掘削孔に杭を回転埋設するプレボーリング拡大根固め工法

■NCコラム工法

地盤中に柱状の改良体を築造する地盤改良工法

生産・営業拠点

■ 生産拠点 14カ所

- | | |
|---------------|--------------|
| ・ 川島工場 (茨城県) | ・ 九州工場 (福岡県) |
| ・ 鈴鹿工場 (三重県) | ・ 和気工場 (岡山県) |
| ・ 古河工場 (茨城県) | ・ 笠岡工場 (岡山県) |
| ・ 高砂工場 (兵庫県) | ・ 板倉工場 (群馬県) |
| ・ 滋賀工場 (滋賀県) | ・ 女方工場 (茨城県) |
| ・ 小松工場 (愛媛県) | ・ 結城工場 (茨城県) |
| ・ 四日市工場 (三重県) | ・ 岡山工場 (岡山県) |

■ 営業拠点 12カ所

- | | |
|---------|----------|
| ○ 本 社 | ・ 茨城営業所 |
| ○ 大阪支店 | ・ 岡山営業所 |
| ○ 名古屋支店 | ・ 広島営業所 |
| ○ 九州支店 | ・ 四日市営業所 |
| ○ 四国支店 | ・ 筑豊営業所 |
| | ・ 熊本営業所 |
| | ・ 小松営業所 |



■ ご注意

この資料に記載されている業績予想等は、本資料作成時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の結果は、今後様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります、いかなる確約や保証を行うものではありません。

■ 問合せ先

日本コンクリート工業株式会社
経営管理部 株式・IRグループ

TEL: 03-3452-1025

FAX: 03-3452-1121

E-mail: ir@star.ncic.co.jp

■ 表紙の写真（九州工場）

2015年10月31日に竣工し、12月上旬より生産を開始する予定の大径コンクリートパイル工場です。